

# 学びの場

## 目指す生徒像

- ・一人ひとりを大切にし、より豊かな集団の一員になる  
うとする生徒
- ・常に正しい判断ができ、行動する生徒
- ・困難に立ち向かい、創意工夫して解決に当たる生徒

### 【学校教育目標】

学び合い、磨き合い、支え合って、  
共に高め合う生徒の育成

## 学習指導要領

- ・基礎、基本の習得と問題解決の思考力を養い、生きる力をはぐくむ
- ・人としての基盤である道徳性を養う
- ・健康、安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。

## 生徒の姿

- 【学習】
- ・学習内容を確実に理解しようとする意欲がある。
  - ・躓きに対して、他に頼る傾向が強い。
  - ・自分の考えを積極的に表現しようとするのが苦手である。
- 【生活】
- ・自分に任せられた活動を確実に実行している。
  - ・他と積極的に関わったり、共に高まっていこうとする姿勢に不十分な面がある。

### 安心して学びあえる 学習集団の創造

- ・関わり合い、伝え合い、分かり合える学習を実現して、自分の思い・考えを出し学習を作り上げていく。
- ・生徒個々のニーズを把握し一人ひとりを大切に学習指導体制を作り、学習への意欲の向上を目指す。
- ・学級活動や日々の授業の中でよりよい集団づくりの実践を行う。

### 3つの重点

- 生徒会活動
- ・挨拶ストリート
  - ・全校縦割り清掃
  - ・全校合唱
- を通して、
- ・挨拶（心を広げる）
  - ・清掃（心を磨く）
  - ・歌声（心をつなげる）
- この重点を向上させることにより、基本的な生活習慣を定着させ、友と取り組むよさを感じ取らせる。

### 進路学習を中核とした総合的な学習

- 地域の産業や事業所などと連携した
- 調査活動
  - 職場見学
  - 職場体験
- 体験の中から職業観・仕事への意識・自己の進路を学ぶ

### やりがいのある 専門部活動

- ・日々の取り組みを通じた技能の向上から感じる達成感
- ・大会や発表の場を通じた感動体験
- ・一人の力より友と取り組むことからの集団の力の実感
- ・自らの専門性の向上を得させる。
- ・スポーツや芸術活動を通して校内に文化の香りを育む

## 全校研究

- 「関わり合い、学び合う授業のあり方」のテーマを追究することを通して…
- 学び合いのある学習集団を作る。そのために…
- ・全職員による授業公開を積み重ね実践に学ぶ研究を行う。
  - ・共に学び合う生徒の育成を全領域・全教科でねらう。

## 保護者との連携

- ・スポーツ活動運営委員会の協力を得た専門部活動の充実
- ・保護者、地域の協力を得た体験学習の充実
- ・PTA活動を通して保護者とともに生徒を育成していく活動の創造。
- ・通信などによる家庭地域へ発信
- ・学校自己評価を用いた願いの受け止め

## 生徒指導と不登校対応

- ・Q-Uを用いた生徒理解と学級集団の傾向の把握
- ・生活向上習慣による日常生活の見返しとよりよい姿の定着
- ・不登校チーム支援による個別対応
- ・相談室、による家庭と教室のつなぎの場の確保
- ・生徒理解を深めるための小中の連携

### 平成22年度 指導の重点

- ・生徒一人一人を大切にされた指導・・・特別支援の必要な生徒への指導の体制の工夫・教育相談の充実(時間・場の設定)
- ・新指導要領を見すえた総合的な学習の本校での位置づけ  
(3年間見通した内容・つける力の見直し・地域や進路を中核とした活動)